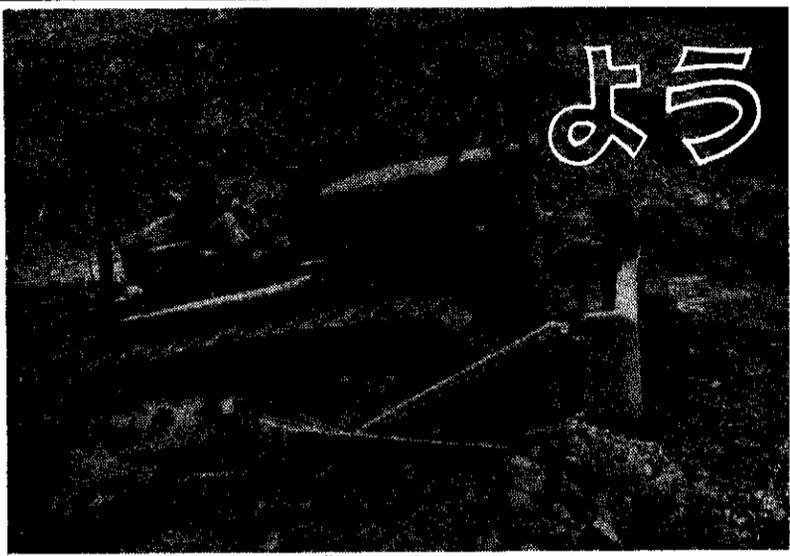


10月の納税
1.町民税 第3期
2.国民健康保険税 4期

10月1日の人口と世帯
世帯数 2,688戸
男 6,984
女 7,329
計 14,313

発行所 群馬県甘楽郡甘楽町大字小幡852
甘楽町役場
電話(小幡)4番・44番・49番
編集 総務財政課 企画文書係
印刷所 坂本印刷株式会社



写真は作業中の自衛隊ブルドーザー

大型ブル三台つらね 小幡へ多胡線改修にきました

小幡(引) 部で約九一五メートルです。ここに五メートル幅の道路をつくる計画ですが、なにしる山を十二メートルも切り下げるので、土の量もとくにたくさん必要になります。このように大規模な事業は、ひじょうに多くのお金を必要とするので、なかなか簡単に手につく仕事ではないのです。そこで、町では、これを自衛隊にお願ひしていたところ、二施設大隊の来町となつたわけでした。

「作業にかかれ」藤岡隊長の号令が十月七日にかつてから三日め、小幡山はザクザクのように大きな口をあけてきました。これが、十二月になると、すっかり地形をかえて、ここに道路が生れるわけです。これも自衛隊のお力による

大型ブル三台つらね

小幡へ多胡線改修にきました

この第十二施設大隊というのは、新町部隊のことで、十月六日には、この工事の作業隊長である藤岡二等陸尉(旧軍の中尉)以下十名(後日追加されて十五名になる予定)が来町し、約二カ月間、上野公民館に宿泊して作業にあたることになったわけでした。

また、この作業には、藤岡二尉以下十四名の隊員と、十八トングブルドーザ三台、グレンジャーが使用されることになっていきます。

隊員の激励協力に 婦人会、郷友会などが出勤

この自衛隊の土木工事といふのは、陸上自衛隊が訓練目的にある、国や地方公共団体などが行なう土木、通信工事輸送事業、防疫事業などの施設を提供する他にすぎません。

充実される教育施設 ことしは町営住宅も建つ

三十九年度の町の主要事業である四つの建設工事が、いよいよ十月一日からいっせいに工事に着手いたしました。新町として、当町が充足して以来、第一中学校の建設、小幡小学校給食施設の建設、第二中学校産業教室家庭科室の建設、新屋小学校の移築、福島小学校の増築、第三中学校の増築、第一中学校給食センターの建設など、文教施設が着々整備されてきました。このことは、第二中学校に屋内運動場と、第一中学校に屋内運動場と、産業教室の建設工事が行なわれ、児童・生徒の将来のしあわせを願つて、大きな財源が投せられるわけです。

協力を下した上野地区のみなさんのおかげです

また、隊員が来町するや、小幡地区の婦人会には、炊事などのお手伝いをしていただき、作業現場で奉仕していただいております。郷友会などには、作業現場で奉仕していただいております。

このほか、全町民からいろいろな形で協力していただくことになっていきますが、わたしたちの町を住みよくしてくる自衛隊員の激励と協力は、わたしたち住民のつとめであると思ひますので、すすんでご奉仕くださるようお願いいたします。

そして、自衛隊と住民が一体となつてすすむところにこの道路の完成も、町づくりも、国づくりもあるものと思ひます。

屋内運動場を建築

この運動場は、鉄骨造りで二六坪の広さをもつ大きなものです。このうち国の補助対象になるのは九七坪で、あとの一六四坪は一般会計からのもちだしになります。

運動場は一七一坪の運動場(バスケットコート)がじゅうぶんにとれる)をはじめ、運動器具室(二二坪)、更衣室、シャワー室(五坪)、教員室(五坪)、控室(五坪)、予備室(十坪)、更衣室(五坪)、トイレ(九坪)、それに玄関、渡り廊下、地下物入れなどをそなえて、講堂もかねることになります。

町営住宅十六戸建築

四一年までに五五戸の町営住宅を建設する事業の、初年度をむかえたことしは、まず十六戸を建設します。

別天地、天王団地に当町のベトナムタウン(住宅地)をきつづくこの事業は、発表以来、多くのみなさんの注目をあつておりましたが、いよいよ工事に着手し、来年一月二十五日までには完成することになります。

産業教室建築

第三中学校にも産業教室を建設します。

鉄骨造りで三十坪、六つの作業台をもつ作業場をはじめ、工具室、ボール盤、旋盤、自動カンナ、グライダー、角のみ、糸のみなどを備えます。三十七年に増築した新校舎の西に建設されることになっていきます。

これで、町内三つの中学の全部に産業教室の設置がなされることになり、生徒の職業指導のうえに大きな基礎をつくりがなされることとなります。吉井町の鈴木工業K.K.が、一六八万円で落札し、来年一月二十日に完成の予定です。

敬老年金

ことしは48人に

九月十五日の「としよりの日」に、八十五才以上のおとしよりに、うれしいおくりものがありました。

町長みずからそれぞれおとしよりに訪問して、長寿のお祝いを申し上げて、慶祝状と三千円ずつの敬老年金をおくりました。

これは、町の条例にもとづいて、毎年九月におくりられるものです。

また、このほかことし八十八才になられた四人の方には、郡の社会福祉協議会から、座ぶとんがおくりられました。一年金をおくつた人のうち、八十八才以上の人は、次のとおりです。(敬称略)

貯蓄しましょう

十月十七日は「貯蓄の日」でした。この貯蓄の日は、日ごろ健康で働ける喜びを感謝するとともに、もう一度これまでの生活をふり返つて、ムダがないかどうか検討し、明るい生活を目指して貯蓄する日です。

貯蓄をするには、できるだけムダをはぎ、そして多少の無理をしなければ、決して貯蓄はできるものではありません。

たとえば、ふだん吸っているタバコの量を、少しでも少なくすると、酒を飲む回数をへらすとか、日常生活にはこのようにすることがたくさんあります。

とにかく、すこしずつでも貯蓄をして、ゆとりのある生活を送りたいものです。



写真は一中産業教室の地鎮祭

協同と責任と安全を重んじる 実践的な態度を養うために、学校教育に欠かせることのできないものです

三十七年度までは、建設費用を国と町とで半分ずつの負担でしたが、これが三八年からは、国は三分の一、町が三分の二の負担割合になっております。

ことし、第一中学校に建設する産業教室は、鉄骨造り四十坪で、工具室をはじめ、八つの作業台をもつ作業室、旋盤ボール盤、自動カンナ、配電盤、角のみなどを備え、生徒にじゅうぶんな技能習得ができるようになっていきます。

この建物は、給食センターの南方、家庭科室の校舎の西横に建築します。

吉井町の安藤工務店が、二一八万円で落札し、来年一月二十日に完成の予定です。

氏名 住所 性別 年齢

新井七五郎	小幡	男	九四
黒沢 長吉	小幡	男	九二
山崎 隆	小幡	女	九一
堀口 どり	小幡	女	九一
中野 隆吉	小幡	男	九一
黒沢 たみ	小幡	女	九一
青木 きく	小幡	女	九一
青木 きよ	小幡	女	九〇
松井 山吉	小幡	男	八九
吉田 たつ	小幡	女	八九
森平 安治	小幡	男	八九
齊藤 宇た	小幡	女	八八
佐藤 さと	小幡	女	八八
松井 こと	小幡	女	八八
森平 はつ	小幡	女	八八